

## 第20回日本バレーボール学会総会報告

### 2014年度事業報告

#### 1. 第20回記念大会の開催

- ▽期日：2015年3月7日(土)・8日(日)
- ▽場所：早稲田大学 早稲田キャンパス
- ▽テーマ：「RIO 2016そしてTOKYO 2020へ  
～ブラジルに学ぶ～」
- ▽内容：
  - ・特別講演  
「誰もが輝く運動部活動を目指して」  
講師 友添秀則氏  
(早稲田大学スポーツ科学学術院長)
  - ・基調講演  
「ブラジルが目指すバレーボール」  
講師 アントニオ・マルコス・レルバッシ氏  
(ブラジル男子シニアチーム団長, 男子ジュニア・ユース監督)
  - ・シンポジウム  
「RIO 2016そしてTOKYO 2020へ」  
シンポジスト アントニオ・マルコス・レルバッシ氏  
(ブラジル男子シニアチーム団長, 男子ジュニア・ユース監督)  
酒井新悟氏(日本バレーボール協会)  
朝日健太郎氏(株式会社フォーバル)
  - ・20周年記念フォーラム  
「バレーボールにおけるブロックングについて」
    - ①ブロック技術の変遷(吉田清司：専修大学)
    - ②ブロック動作遂行過程の検討  
(松井泰二：早稲田大学, 根本研：日本体育大学)
    - ③ブロックングのバイオメカニクス  
(黒川貞生：明治学院大学, 小林海：目白大学, 山田雄太：大同大学)
    - ④ブロックにおけるスポーツ外傷・傷害とその対応・予防  
(橋本吉登：湘南東部総合病院, 板倉尚子：日本女子体育大学)
  - ・オンコートレクチャー  
「ブラジルにおけるコーチング」  
講師 アントニオ・マルコス・レルバッシ氏  
(ブラジル男子シニアチーム団長, 男子ジュニア・ユース監督)
  - ・一般研究発表 23件
  - ・参加者 約150名
  - ・総会
  - ・20周年記念パーティー

#### 2. バレーボールミーティングの開催

- ▽期日：2014年8月17日(日)
- ▽場所：大東文化大学東松山キャンパス
- ▽内容：
  - 埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会 共同開催

- ・基調講演  
「JVAにおけるゴールドプラン  
～これからの普及と一貫指導について～」  
講師 亀ヶ谷順一(JVA国内事業本部指導普及委員会委員長)  
緒方 良 (JVA国内事業本部指導普及委員会副委員長)
- ・シンポジウム  
「一貫指導から求めるジュニア～ユース世代の育成」  
講師 飯塚初義  
(習志野市立習志野高等学校男子バレーボール部監督)  
赤木貴雅(つくばユナイテッドSun GAIAマネージャー)
- ・参加者：約136名

#### 3. 「バレーボール研究」の発刊および発刊準備, 「ニュースレター」の発行

- ▽2014年6月30日付 バレーボール研究16巻1号発刊  
原著論文1編, 研究資料7編
- ▽2014年5月1日付  
バレーボール研究17巻1号の発刊準備中
- ▽2014年11月28日付 ニュースレターNO.21発行

#### 4. バレーボールに関する研究事業

- ▽バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用
  - ・日本バレーボール学会ホームページ上で公開中
- ▽調査研究補助
  - ・バレーボールのVプレミア・チャレンジリーグにおける観戦者意識および行動に関する研究  
研究代表者：廣 美里

#### 5. 諸会議の開催

- ▽理事会
  - ・第1回：2014年8月17日 大東文化大学 東松山キャンパス
  - ・第2回：2014年11月8日 日本女子体育大学
  - ・第3回：2015年1月11日 大東文化大学 大東文化会館
  - ・第4回：2015年3月07日 早稲田大学 早稲田キャンパス
- ▽総会
  - ・第20回：2015年3月8日 早稲田大学 早稲田キャンパス

#### 6. その他諸事業の実施

- ▽役員選挙の実施
- ▽20周年記念事業
  - 「バレーボールの歴史(仮称)」本の出版準備
- ▽JVA指導者教本(仮称)出版協力準備
- ▽学会ホームページおよびメーリングリストの運用と整備(<http://www.jsvr.org>)
- ▽日本学術会議との連携
- ▽日本バレーボール協会との連携
- ▽日本コーチング学会との連携

## 2014年度 決算報告

### 1. 収入の部 (円)

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
会費	1,500,000	1,756,748	@5,000×352名分 (過年度分を含む) 学生会員@3,000×5名分 (UC手数料-18252)
大会余剰金	0	83,833	第19回学会大会：81,891 第1回バレーボール ミーティング：1,942
広告費	200,000	0	
繰越金	2,773,187	2,773,187	2013年度より繰り越し
雑収入	1,000	13,516	預金利息・機関誌頒布
その他	0	100,000	研究補助費返還金100,000
合計	4,474,187	4,727,284	

### 2. 支出の部 (円)

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
会議費	500,000	253,000	会議お茶代・理事会交 通費補助
事務費	600,000	247,516	会費銀行振替関連経費、 振込手数料、事務用品、 webリニューアル・ web運営費等・選挙管理費
通信費	200,000	162,856	宅急便・メール便(選挙関連送付を含む)
大会補助費	600,000	600,000	第1回バレーボール ミーティング：200,000 第20回大会：400,000
学会封筒	150,000	56,160	学会封筒(角2・長3)
機関誌発行費	650,000	711,752	バレーボール研究16巻1号 ニュースレター21号
委員会経費	350,000	185,424	編集委員会169,370・渉 外委員会0・企画委員会 16,054・総務委員会0
調査研究費	600,000	150,000	調査研究補助 150,000 歴史本プロジェクト0
予備費	500,000	0	香典・弔電等慶弔費
次年度繰越金	324,187	2,360,576	
合計	4,474,187	4,727,284	

以上御報告申し上げます。 2015年3月7日

日本バレーボール学会  
総務委員会  
委員長 田中博史 印略

証拠書類等を監査の結果、以上の報告に相違ないことを御報告いたします。 2015年3月7日

日本バレーボール学会  
監事 島津大宣 印略  
藤島みち 印略

## 2015年度 事業計画

1. 第21回大会の開催  
▽期日：2016年3月上旬  
▽場所：明治学院大学
2. バレーボールミーティングの開催  
▽期日：2015年8月8日(土)  
▽場所：紫波町情報交流館,  
オガールベース(岩手県紫波町)  
▽テーマ：「地域から日本のバレーボールを変える  
～オガールベースの挑戦～」
3. 「バレーボール研究」の発刊および「ニュースレター」の発行準備  
▽バレーボール研究17巻の発刊と18巻発刊準備  
▽ニュースレターNo.22号の発行
4. バレーボールに関する研究事業  
▽バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用  
▽調査研究補助  
▽バレーボール歴史本(仮称)の出版  
▽JVA指導教本(仮称)の出版協力
5. 会員情報の管理と名簿の整備(会員名簿は隔年で機関誌に掲載)
6. 公式サイトの管理・運営
7. 国際交流事業の推進
8. 諸会議の開催
9. 日本バレーボール協会との連携
10. その他諸事業の実施  
▽日本学術連合との連携  
▽日本コーチング学会との連携

## 2015年度 収支予算

## 1. 収入の部

(円)

項目	前年度予算	今年度予算	摘要
会費	1,500,000	1,500,000	@5,000×300名分(概数)
広告費	200,000	200,000	機関誌広告費
大会余剰金		0	
繰越金	2,773,187	2,360,576	2014年度より繰り越し
雑収入	1,000	1,000	預金利息・機関誌頒布
合計	4,474,187	4,061,576	

## 2. 支出の部

(円)

項目	前年度予算	今年度予算	摘要
会議費	500,000	500,000	諸会議経費・理事会主要役員会交通費補助
事務費	600,000	600,000	会費銀行振替関連経費、振込手数料、事務用品、web運営費、HP管理費(業者委託)
通信費	200,000	200,000	郵送料、宅急便代等
大会費	600,000	600,000	大会、バレーボールミーティング等の開催経費(大会400,000・バレーボールミーティング200,000)
印刷費	150,000	150,000	学会封筒・資料等の印刷費
機関誌発行費	650,000	750,000	「バレーボール研究17巻1号」発刊・ニュースレター発行
委員会経費	350,000	350,000	総務・渉外・企画:各50,000、編集180,000、文獻データベース作成事業20,000
調査研究費	600,000	600,000	調査研究補助費、プロジェクト研究補助費
予備費	500,000	300,000	国際会議準備費等
次年度繰越金	324,187	11,576	
合計	4,474,187	4,061,576	

## 事務局だより

先日、早稲田大学で開催された第20回記念大会では、ブラジルからアントニオ・マルコス・レルバッシ氏をお迎えし、基調講演、シンポジウム、オンコートレクチャーにご登壇いただきました。さらに、特別講演、23題の一般研究発表、ブロッキングについてのフォーラムなど充実したコンテンツが催され、松井泰二実行委員長をはじめとしたスタッフのご尽力により、参加者が満足する2日間の研究大会を開催することができました。情報交換会では、歴代会長である枋堀申二先生と矢島忠明先生から、本学会発足時のエピソードなどこれまでの20年間を振り返るご挨拶をいただき、美味しい食事を交えながらじっくりと会員間の交流を深めることができました。

さて、本学会はこの4月から河合学会会長および石手靖理事長を中心とした新体制での運営を始めました。2015年度の主な学会事業はバレーボールミーティングと第21回研究大会です。「2015バレーボールミーティング(8月8日開催予定)」は、紫波町情報交流館、オガールベース(岩手県)にて「地域から日本のバレーボールを考える～オガールベースの挑戦～」をテーマに開催します。詳細につきましては学会HPの要項をご覧ください。多数のご参加をお待ちしております。また、3月には、明治学院大学白金キャンパス(東京都)にて第21回研究大会を開催予定です。このような学会活動におきましては、会員の皆様のご理解、ご協力が欠かせません。積極的に参加いただくとともに、学会の活動に多くのご意見をいただければ幸いです。また、今年度中には20周年記念事業の『バレーボールの歴史本(仮称)』および日本バレーボール協会とのタイアップで編集協力をしている『バレーボール指導教本改訂版(仮称)』の出版が予定されております。ご期待ください。

なお、住所変更・所属変更があった場合は、学会HPの登録情報変更フォームより送信してください(「学会概要」→「入会のご案内」→「入会手続きはこちらから」→「登録種別」→「所在変更」を選択後、必要事項を入力)。また、機関誌・ニュースレター等が届いていない場合は、事務局までご連絡頂ければ幸いです。